

3つゴールから振り返る自立支援協議会
～ 地方都市のモデルに～
(障害者自立支援協議会 10 年間の取り組みについて)

2021/03/26 田垣正晋 大阪府立大学

0. 3つのゴールとは

→ 多種多様な医療、福祉、教育関係者が定期的に集まり、多くの活動を続けていること。そのときどきの要請に応じた活動

1. タスクゴール：具体的な課題の達成

- ・各種研修
- ・サポートブック
- ・視察
- ・体制作り
- ・計画への提言

2. プロセスゴール：会議の運営

- ・役割分担に基づく組織と定期的な会議
- ・組織の位置づけに関する、よい意味でのこだわり
- ・一体感の醸成
- ・ややバーンアウト

3. リレーションシップゴール

- ・都市交通、不動産
- ・先進地域の視察

4. 今後

- ・活動のスリム化
- ・障害者本人の参加
- ・政策動向への対応：障害者差別解消法

参考（詳細は以下の文献にあります）

[Tagaki, M. \(2019\). Action research on municipal disability policies in a rural city in Japan, Qualitative Psychology Nexus, 15.107-139](#)（日本の地方都市における障害者施策に関するアクションリサーチ）